

令和1年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表 (公開)

法人名	特定非営利活動法人田 万川地域サポート21	代表者	津守洋保	法人・ 事業所 の特徴	山口県北部の自然災害の少ない高台にあり、住宅地や温泉、道の駅、食事処等も近く住環境に優れている。事業所は地域に密着した質の高い多機能のサービス提供に向けて、職員の人材育成を重点的に進めている。運営推進会議における意見も参考に、道の駅の一角に交流サロンを開設し、介護予防・日常生活支援サービスを試行している。
事業所名	小規模多機能ホーム ぬくもり	管理者	濱中幸恵		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民 地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援 センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	5人	3人	2人	2人	1人	1人	4人	人	19人

項目	令和1年度の改善計画	同左改善計画に対する取組み・結果	意見	令和2年度の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	①訪問サービスのみご希望の方に関する情報・要望等は、利用受付表の様式を変更して記録できるようにし、情報共有の漏れがないかチェックする。	① 利用受付表の様式を変更して記録できるようにし、情報共有の漏れを無くすよう努めた。管理者や主任が情報共有の漏れがないか出来るだけチェックした。	当年度の課題と改善計画への取組みについて「わからない」との評価が若干出ている。理解を深める工夫がいるのではないかな。	1. 地域密着型の自立支援サービスの重要性にかんがみ、各項目について各職員は真剣に取組み、キャリアパスのレベル向上を目指すこと。
B. 事業所のしつらえ・環境	2項：前庭の東屋屋根の葺き替え工事をする	令和一年10月に工事完了 工事費276,000円	1項：事業所が標高20mの高台にあるので運転できない高齢の方は単独では来訪は難しいのではないかな。	1. 玄関ホールの季節感あるしつらえやテラスの植込みを工夫し、利用者やご来訪者に穏やかな雰囲気味わって頂く。
C. 事業所と地域との関わり	3項：昨年度開設の「交流サロン」を通じ、ぬくもりのPRに努める。 4項：職員は地域行事やイベント等に利用者とともに積極的に参加する	ぬくもりPR誌や総合事業関係のチラシ等をサロンに置いてPRに努めた。職員の地域社会での交流実態のアンケート調査をした。	3,4項：昨年も「わからない」が多かった。3項については交流サロンも窓口として機能しているのではないかな。	1. 職員は地域の清掃活動や奉仕活動に利用者とともに出来るだけ参加する。 2. 自然災害の多発傾向にかんがみ、事業所が地域資源の一つとして緊急避難場所の役割を果たせるよう対応を考える。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	2項：運営推進会議へ利用者家族や地域住民の参加のあり方を検討する。 4項：有償ボランティアによる住民サービス「たまらば」も活用し、地域での心配な方の情報収集する。	利用者ご家族一名のオブザーバー参加をお願い第二回会議から参加頂いている。「たまらば」のサービスを通じて新たに小多機能ホーム利用者2名と契約できた。	4項：タクシー会社2社が廃止になったが有償ボランティア組織が一部対応できるのではないかな。チェックリスト該当者、独居者で周りのサポートがない方は有償ボランティア組織を利用できるのではないかな。	1. 住み慣れた地域との交流充実のため、地域行事等へ利用者とともに積極的に参加し、知人・友人との交流を深める。 2. 感染症等への緊急対応のためサービスの閉鎖措置がとられた場合の対応を検討する。

E. 運営推進会議を活かした取組み	2項：地域での心配な方の実態を委員から情報提供して頂き、NPO法人としての取組み方を引き続き検討する。	地域での心配な方の情報により、一般の高齢者が数名「たまらば」サービスを試行利用された。	2項：地域での心配な方についての具体的な情報交換の場があれば、NPOとしての対応の参考になるのではないかな。E項全般に「わからない」との評価が多いのではないかな。	1. 利用者家族や地域住民の運営推進会議への参加促進について引き続き検討する。 2. 各委員から地域の福祉関係情報や心配な方の情報を頂き、ボランティア組織の活用やNPO法人としての取組み方等について意見を頂く。
F. 事業所の防災・災害対策	3項：地域住民の皆様にも、当事業所の防災へ協力して頂けるよう、地域行事への協力、奉仕活動への参加、事業所イベント等へのご招待など、引き続き日常的な交流に努める。	地元自治会行事や環境整備への奉仕活動、奉仕品等の提供をした。ぬくもりから近隣市道の草刈り等をシルバー人材センターへ依頼した。11月13日に萩市防災担当、消防団参加による火災避難訓練を実施した。	E、F項全般について「わからない」が比較的多い。全体としても理解不十分な項目については第2、3回介護あたりで集中的に説明し、その場で評価記入してはどうか。	地域の住民の方に事業所の防災へ協力頂けるよう事業所から地域行事や奉仕活動等へ積極的に参加し交流に努める。 2. 事業所の防災体系について理解を深めて頂くよう毎年度早い時期に運営推進会議で説明すること。